

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（111）」

2. 日時：令和2年7月21日（火）13時35分～14時45分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術研究調査官、宮脇技術研究調査官、南雲係員

北海道電力株式会社：藪執行役員 他11名（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙1及び別紙2のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 地盤（敷地の地質・地質構造）に関するコメント回答（Hm2 段丘堆積物の体積年代に関する検討）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:02	規制庁タニです。
0:00:04	とも時間きてるのでヒアリングを始めたいと思います。泊発電所 3 号炉の敷地に関するコメント回答ということでヒアリングを開始しますので、まず資料のほう、説明をお願いできますか。
0:00:20	はい、北海道電力の松村です。本日よろしくお願ひいたします。
0:00:25	本日は 7 月 8 日のヒアリングを踏まえまして。追加事項等について説明させていただきますよろしくお願ひいたします。
0:00:37	北海道電力のセガワです。資料について御説明いたします。1 ページ、目次をお願ひいたします。
0:00:46	前回ヒアリングを踏まえまして、一章コメント回答方針衣装 f1 断層開削調査箇所付近に分布する堆積物のさらなる検討暗証小断層の影響範囲に関する検討、6 章 f4 断層及び F11 断層に関する検討。
0:01:05	これらの修正項目などにつきまして御説明させていただきます。
0:01:09	あんページー生コメント回答方針です。4 ページ 5 ページ、見開きでお願ひいたします。
0:01:18	4 月 16 日審査会合の指摘事項を 4 ページ 5 ページ、見開きでお示しております。6 ページ 7 ページ、見開きでお願ひいたします。
0:01:30	前回、ヒアリングを踏まえまして、指摘事項に対する回答方針を 6 ページから 8 ページに示しております。
0:01:39	いうページお願ひいたします。
0:01:45	前回審査会合の指摘を踏まえまして、こちらの表の通り追加調査観察分析測定を実施しております。4 月 16 審査会合をキレートといたしまして、以前以降と分けてお示しております。
0:02:01	色が既往の調査、以前のもの、赤が追加調査をしまして審査会合以降のものをお示しております。
0:02:10	11 ページをお願ひいたします。
0:02:17	こちらは開削調査箇所南側の延滞俯瞰図になります。
0:02:22	越の中央付近の引き出し線で横断掘削箇所①②③につきましては、以前の 10 時掘削箇所という故障でしたが、今回改めております。
0:02:36	またヒアリング前回ヒアリングを踏まえまして、横断策箇所①から③につきましては 4 月 16 審査会合以降に掘削を実施した旨記載しております。

0:02:49	また、名模式図断面模式図が下のほうにございますが、こちらでユニット等の着色をいたしまして、対策南の露頭状況がわかりやすくなるよう修正をいたしております。
0:03:02	12 ページお願いいたします。
0:03:08	それは開削調査箇所北側の調査位置図です。前回ヒアリングを踏まえましてきた兵器のスケッチですが、審査会 4 月 16 審査会合をレートにつきまして 6000 円と調査項目がわかるようにお示しております。
0:03:25	Fk-D 測線部屋につきましては、帯磁率については、基盤がまだ実施しておりますが、火山灰については、基盤がんで実施しておりませんので、適正化した凡例としております。
0:03:39	13 ページスワップ面開削南の南側壁面の調査位置図になります。
0:03:46	14 ページ、15 ページ、見開きでお願いいたします。
0:03:51	こちらは南側壁面の背後法面の調査位置図ですが、宴会ヒアリングを踏まえまして、測線のSKB-D、
0:04:02	それからSKB-E' SKB-Iと測線名がわかるようそれぞれ適正化しております。
0:04:10	また、15 ページですが、S1 につきましては、IからES1Aユニット、
0:04:19	Es1Pdユニットの故障することといたしております。
0:04:24	17 ページをお願いいたします。
0:04:29	日照F1 開削箇所付近に分布する堆積物のさらなる検討です。20 ページをお願いいたします。
0:04:43	開削調査箇所北側において、4 月 16 審査会合における指摘を踏まえまして、鉛直方向に連続的に火山灰分析を実施しております。
0:04:55	凡例のほうを審査会合以前以降とわかるよう押し赤丸と青丸のほうで凡例を示しております。
0:05:05	22 ページお願いいたします。
0:05:10	開削調査箇所北側の追加火山灰分析の結果をお示しております。
0:05:16	前回ヒアリングを踏まえまして、今日の資料番号のほうに主成分分析を実施した箇所を明示しております。
0:05:25	黄色でハッチングしてますのが主成分分析斜方輝石と角閃石を実施した場所で、4 月 16 審査会合以降に実施したものです。
0:05:35	インク破線で示していますものが主成分分析火山ガラスを実施したものを実施した箇所でございます。
0:05:43	こちらも 4 月 16 審査会合以前に実施したことをお示しております。
0:05:49	来ます 24 ページをお願いいたします。

0:05:57	こちら開削調査箇所北側の斜方輝石の
0:06:01	主元素組成を示しております塩化ヒアリングを踏まえまして、ユニット別に凡例の着色を分けてお示しております。
0:06:10	黒がN3 ユニット赤がNEC日当お示しております。
0:06:16	28 ページ、29 ページをお願いいたします。
0:06:25	こちらは開削調査箇所、南側の南側壁面の背後法面で実施しました追加火山灰分析の結果をお示しております。
0:06:35	29 ページの表のほうの資料番号 2、先ほどと同様に、生前分析実施箇所と実施時期がわかるよう着色をしております。
0:06:46	案 10 ページ 31 ページ見開きをお願いいたします。
0:06:52	こちらでは、開削南の斜交危機的と 31 ページは角閃石の主元素組成につきまして前回ヒアリングでは、開削北の結果とあわせて表示しておりましたが、今回開削南判読の結果をお示しております。
0:07:10	32 ページ、33 ページ、見開きをお願いいたします。
0:07:17	こちらは前回ヒアリングでもお示しております斜方輝石の主元素組成でこちらでは、ユニット別に凡例の着色を分けております。
0:07:28	プロが開削調査箇所北側のM3 ユニット、
0:07:32	赤が開削調査箇所北側のM1 ユニット仰が開削調査箇所南側のNEC日程になっております。
0:07:41	33 ページは、角閃石の主元素組成を示しております、同様に着色を分けてございます。
0:07:48	35 ページをお願いいたします。
0:07:52	うん。
0:07:54	こちらから 2-2 章、開削調査箇所南側に認められる斜面堆積物の検討になります。
0:08:02	こちらでは指摘事項のNo.2 からNo.8 に該当する章になります。36 ページ、37 ページ、見開きをお願いいたします。
0:08:14	斜面堆積物PS3 ユニットの地層区分に関する妥当性の確認の流れにつきまして、改めて整理しておりますので御説明させていただきます。
0:08:28	宴会審査会合における指摘後指摘を踏まえまして、開削調査箇所、南側に認められる斜面堆積物言え際にと上位の森度範囲のM12 と対象に追加調査を実施しております。
0:08:45	追加調査結果を踏まえまして、以下の流れに基づき、家さんユニットの地層区分に関する妥当性を確認しております。

0:08:54	まず、2-2 の 1 相層区分の整理、こちら調査箇所は下の天体俯瞰図と右の図の 1 をご参照お願いいたします。
0:09:06	M1 ユニットとTSIにとも井戸が認められる側溝設置後、海側壁面
0:09:13	横断切削箇所①ペラを対象にはぎとり権者資料を用いた早々確認を行いました、あく堆積物と森泥の特徴を整理するとともに、背後法面に認められるES位置にPS2 ユニットにつきまして上げたり電車資料を用いた早々確認。
0:09:33	内の特徴をRISしております。
0:09:37	各堆積物と森中の特徴に基づきまして、背後法面天端付近の詳細スケッチを作成しております。
0:09:45	詳細スケッチ作成範囲は右の図の 2 の範囲でございます。
0:09:52	そして詳細スケッチは海側壁面も広く対象とするため作成に当たりましては、4月16 審査会合以降フリーフレームの追加撤去を実施しております。
0:10:03	次に 2-2 章です。皆事象ですが、地層区分の妥当性に関する検討です。
0:10:11	詳細スケッチにお示しました地層区分の妥当性を確認するため、薄片観察を度測定火山灰分析を実施しております。
0:10:22	また、開削調査箇所北側の北側の東側に位置します。以下開削調査箇所に認められるMm1 日程に挟在する斜面堆積物につきましても、
0:10:35	そうそう確認べき収益の形状調査、火山灰分析を行いました、開削南に認められるPS1 からPS31 との比較を実施しております。
0:10:47	そして右の 2-3 相南側へ記名の連続性ということで、
0:10:53	地層区分の妥当性が確認されました対応法面天端付近のPS3 ユニットにつきまして南側壁面のPSIIにともとの連続性を確認しております。
0:11:05	連続性の確認範囲は図の 3 に示すものです。
0:11:09	エラーにつきましては、今後反映する内容でございますので、後程改めて御説明させていただきます。
0:11:17	40 ページ 41 ページ、見開きでお願いいたします。
0:11:28	こちらではまとめといたしまして、
0:11:31	各堆積物と森の特徴の整理結果を表にお示しております。
0:11:37	NHKにともと言え際にもリードが認められる側溝設置後、海側壁面
0:11:44	横断掘削箇所①を対象に、はぎとり検査資料を用いた早々確認を行いました、各堆積物を森の特徴を整理するとともに、背後法面に認められるTS1 とPS2 ユニットにつきまして、
0:12:00	はぎとり検査資料を用いた早々確認を行い、その特徴を整理しております。
0:12:06	こちらの表中の青書きで示しますのがEs3 位にとも異なる特徴。
0:12:13	注書きで示しますのがEs3 ユニットと同様な特徴をお示しております。

0:12:19	41 ページ、青矢印の下の箱でございます。
0:12:25	BS31 と 2 部を含めますが、こちらは以下の状況から範囲のM1 ユニットと上位のものだとは明確に区別されます。
0:12:36	森度は均質な早々示し新鮮なあかから亜円礫がまじることことなどから、31 とは特徴が異なります。
0:12:47	M1 ユニットはお互いよい砂層であることから、家さんユニットとは特徴が異なり、
0:12:54	また、PS3 ユニットは会のNE2 棟を斟酌しております。
0:13:00	TSIIにっとはM1 日程に挟在するES2 ユニットと同様な特徴。
0:13:06	一つがシルトまじり砂であることを科医のM12 と侵食するとやを有するもののPS2 ユニットには滞留から中流さがあちを二分というまたはシルトの履歴が認められる繊維部が確認されてない。
0:13:24	確認されていない点において異なります。
0:13:27	42 ページ、43 ページ、見開きでお願いいたします。
0:13:33	はい。
0:13:35	こちらではまとめといたしまして、開削調査箇所南側南側壁面の背後法面天端付近の詳細スケッチをお示しております。
0:13:46	先ほど整理いたしました各堆積物と森の特徴に基づき、下のインク下線で示します。
0:13:54	背後法面天端付近の
0:13:57	詳細スケッチを作成しております。
0:14:00	詳細スケッチはBS3 ユニットの分布を広く確認するため、右側壁面も対象として、
0:14:07	作成にあたっては、新 4 月審査会合以降フリーフレームの追加撤去を実施しております。
0:14:14	43 ページには、背後法面天端付近スケッチの展開図もお示しております。
0:14:21	青矢印の下の箱ですが、TSIIに問わ一部断続的ではありますが、南側壁面の背後法面天端付近において広く分布する状況が認められます。
0:14:35	44 ページ、45 ページ、見開きでお願いいたします。
0:14:43	こちらではまとめといたしまして、つと区分の妥当性について記載しております。
0:14:50	詳細スケッチに示しました地層区分の妥当性を確認するため、各種観察分析測定を出資し実施いたしました阿多成果開削調査箇所に認められるN1 に挟在する斜面堆積物につきましても、
0:15:06	握手観察堰行いES1 からPS3 ユニットとの比較を実施いたしました。

0:15:13	悪臭観察分析測定結果を 45 ページの表にお示しいたします。
0:15:20	青書きがPS3 ユニットと異なる特徴朱書きがPS3 ユニットと同様な特徴を表しております。
0:15:31	また 145 ページの表には費用の核種観察分析測定 4 月 16 審査会合以前に実施しました結果につきましてもあわせて示しております。
0:15:44	青矢印の下の箱です。
0:15:46	PFS安易にとは以下の状況から下位のM1 ユニット長稲森だとは明確に区別されます。
0:15:55	県観察の結果から森尾は粘土鉱物及びその粒径の碎屑物が卓越して多い箇所や認められない箇所が不規則に分布し、家さんユニットとは特徴が異なります。
0:16:10	また、M12 とは粒子間が空隙となっており、粘土降雨別は認められて家さんユニットとは特徴があります。
0:16:20	席にコード測定の結果から、M1 ユニットと森とはいえさん言ったように比べ、° 指数が小さい傾向が認められ、森ではこう土質のばらつきが大きいです。
0:16:33	次に、火山灰分析の結果ですが、森の中には洞爺火山灰の混在が認められるものの、家さんユニットにはや火山灰は認められません。
0:16:44	次に、TSIに問わPSHAユニットES2 ユニットと以下の点において同様な特徴が認められます。
0:16:53	まず薄片の観察結果ですが、成り行き系の碎屑物
0:16:58	粘土鉱物から構成されます。
0:17:01	また、歴史を暗点から軽快初回を形成する基盤が由来と考えられる歴が認められます。
0:17:10	駅の形状の結果からべき農園窓は開削調査箇所南側南側壁面に認められるMm12 を比較しまして、値が低い傾向が認められます。
0:17:22	火山灰の結果から得洞爺火山灰は認められません。
0:17:27	またJA鉱物の屈折率は概ね同様な範囲にベンチを經由なピークは認められません。また主元素の中鉱物の主元素組成の各文書イベント範囲は概ね同様です。
0:17:42	また正確開削長な箇所に認められるMm1 日程に挟在する斜面堆積物はEs イージーにとイエスにユニット家さんユニットと比較保険において同様な特徴が認められます。
0:17:57	歴史の調査結果から旧海食崖を形成する基盤が由来と考えられる、れきが認められます。

0:18:05	そうそう確認から下位のNEC日当侵食しております。
0:18:10	そして、歴の形状の結果、調査結果から歴農園窓はあい策南の南壁面に認められるMm12と比較しまして、値が低い傾向が認められ、イエスにユニット家さんユニットと概ね同様な対応を示します。
0:18:27	そして火山灰分析の結果からJA鉱物の屈折率は概ね同様な部分と同様な範囲に分布し特有なピークは認められません。当たつちゅう鉱物の主元素組成の各弁範囲は概ね同様です。
0:18:43	青矢印の下の箱ですか、詳細スケッチにお示ししましたM一、二といえ3ユニット森おのずと区分は妥当であると判断されます。
0:18:54	46 ページお願いいたします。
0:19:00	それでは、まとめといたしまして、南側へ記名の連続性について記載しておりますが、2-2 章の冒頭で御説明させていただきました通り、社員につきましては、今後反映する内容でございます。
0:19:14	15 ページお願いいたします。
0:19:25	こちらは2-2 の1 相地層区分の整理をいたしまして、
0:19:30	開削調査箇所、南側のストックを設置後、右側壁面のスケッチをお示しております。
0:19:38	NNW側が南へ来側でございまして、南平均に近い位置で作成いたしましたはぎとり権者資料①、こちらを例に先ほどの各堆積物と森の特徴について御説明いたします。
0:19:54	58 ページをお願いいたします。
0:20:04	あと判例ですが、青破線が森の基底面オレンジ破線がPS3 位に来定年をお示しております、59 ページは解釈線なしのものです。
0:20:16	黄色い箱の内容ですが、
0:20:19	M1 ユニットはメーカー使いからかつ会食を呈する食べ淘汰が良いです。
0:20:25	A部は8 会食を呈するシルトまじり砂ではぎとり資料に矢視してます通り滞留から中流差があつ治療に便秘し拡大写真②に示すような経過した円礫が
0:20:41	演算いたします。またシルトの履歴及び会場の黒色のブロックは認められません。
0:20:47	面は下位の改正堆積物を侵食しております。
0:20:53	TSIIにっとはあんかつ会食を呈するれきまじりシルトまじり砂で履歴かつた円礫及び会場の黒色のブロックは認められます。
0:21:04	森尾は管轄会食を呈するシルトまで見えてきたから駅まで率な
0:21:11	駅までリシルト施設などで早々変化が著しく委員な塗装をし直そう示します。
0:21:19	安いしてます通り新鮮な角れきまじります。

0:21:24	78 ページをお願いいたします。
0:21:38	それらはPS2 ユニットで実施しましたはぎとり検査資料について御説明いたします。
0:21:46	作成位置は位置図の赤四角の位置で実施しております、80 ページをお願いいたします。
0:21:57	黄色い箱四つ目の丸ですが、
0:22:01	BF2 ユニット底部のそうそうはシルトまじり砂でPS3 ユニットと同様な特徴を有しますが、あつ地上の細粒化ら中流さまたは私立の履歴が認められないことからPS3 ユニットと同様な特徴を有する繊維部は確認されません。
0:22:22	86 ページをお願いいたします。
0:22:32	こちらは前回ヒアリングを踏まえまして、斜面体積物ES1 ユニットについて御説明いたします。
0:22:41	はぎとり地は 1 図の赤四角で囲っているところになります。
0:22:46	88 ページをお願いいたします。
0:22:51	三つ目の丸ですが、FHAユニットについてですが、イエス 3 ユニットと同様な特徴を有する繊維部は確認されません。
0:23:03	計 15 ページをお願いいたします。
0:23:13	こちらは南側壁面の背後法面天端付近の詳細スケッチのまとめを示しております。
0:23:21	来ほど整理いたしました各堆積物と森の特徴に基づきまして、南側壁面の背後法面円満付近の詳細スケッチを
0:23:30	100 ページから 139 ページに掲載しております。
0:23:35	時 101 ページ、見開きをお願いいたします。
0:23:42	。
0:23:43	前回ヒアリングを踏まえまして、100 ページに、101 ページのスケッチの範囲がわかる位置図等を掲載しております。
0:23:52	以降、同じような作りで構成しております。
0:23:56	また、101 ページのスケッチですか、六甲設置者と海側壁面の範囲をお示しております。
0:24:05	こちらのより締約マイナス 2.5m辺りに火山礫凝灰岩のブロック、それから歴までリシルト質砂がございますが、前回ヒアリング資料では、
0:24:18	こちらの資料でいた示しております。
0:24:21	資料の 139 ページに示しております横断掘削箇所③を反映できていなかったため、今回記事のほうを適正化しております。
0:24:32	142 ページをお願いいたします。

0:24:46	142 ページからは 2-2 の 2 相地層区分の妥当性の検討になります。
0:24:55	こちらに記載のものは先ほど 44 ページ 45 ページで御説明したものです。
0:25:01	飛びまして 181 ページをお願いいたします。
0:25:19	181 ページは 2-2 の 2 相層区分の妥当性といたしまして、
0:25:26	開削調査箇所南側の南側壁面の背後法面において、鉛直方向に連続的に火山灰分析を実施しております。
0:25:35	6000 位置は図にお示しし別紙します通りです。
0:25:39	182 ページをお願いいたします。
0:25:47	こちら黄色い箱の火山灰分析の評価の内容につきまして、前回から記載を拡充しております。
0:25:56	また、2-1 章でも御説明いたしました通り、183 ページ、184 ページの表の資料番号に主成分分析実施箇所と実施時期がわかるよう着色をしております。
0:26:11	184 ページをお願いいたします。
0:26:18	こちらで Tpf11 II タニについては DF1Es1B と呼称することといたしましたので、こちらの表にも反映しております。また、同様に主成分分析
0:26:32	を実施した箇所がわかるよう反映
0:26:35	ございます。
0:26:37	受けまして 202 ページをお願いいたします。
0:26:53	102 ページは、開削調査箇所、下側の東側に位置する追加開削調査箇所において認められる斜面堆積物について、4 月 16 審査会合以降紀州歴の形状調査を実施しております。
0:27:09	前回のヒアリングを踏まえまして、調査方法を二つ目の丸に示します通り、追加で記載させていただいております。
0:27:18	106 ページをお願いいたします。
0:27:26	はい。
0:27:30	こちらは同じく追加開削調査箇所になりますが、エレキ集益の計上調査後の形状調査結果を示しております。
0:27:40	前回ヒアリングでは球形度と縁までの累積頻度について挨拶南の斜面堆積物を一つにまとめて結果を示しておりましたが、今回試料採取箇所別にお示ししております。
0:27:55	また、M12 の結果もあわせて示しております。
0:28:00	黄色い箱の中の評価の趣旨に関しましては変更ありません。
0:28:04	112 ページ、213 ページをお願いいたします。

0:28:17	こちらと同じく追加開削調査箇所になりますが、火山灰分析の結果を示しております。
0:28:24	こちらも同様に黄色い箱の記載の各事業を実施しております。また、表の資料番号 2、共同と同様に主成分分析実施箇所と実施時期がわかるよう着色等を実施しております。
0:28:39	220 ページをお願いいたします。
0:28:49	こちらから 2-2 の 3 相南側へ記名の連続性になります。
0:28:54	226 ページをお願いいたします。
0:29:07	226 ページには、2-2 章において今後反映する内容について記載しております。
0:29:14	一つ目ですが、南側壁面の背後法面円罰金スケッチにA部、
0:29:21	多分単位を明示する予定でございます。
0:29:25	集めですが、南側壁面の背後法面に連続して分布するES3 ユニットに認められる特徴と同様な特徴を有する堆積物が南側壁面に連続して分布することを、露頭観察結果に基づき、露頭写真を用いて詳細にお示します予定です。
0:29:46	そして三つ目ですが、南側壁面において認められるMm1 ユニット家さんユニット森尾における硬度測定結果と南側壁面の背後法面における° 測定結果を比較しまして、そうそう確認による地層区分の妥当性をし、
0:30:04	示す予定でございます。
0:30:07	以上が一章の御説明になります。
0:30:11	227 ページを参照小断層の影響範囲に関する検討でございます。
0:30:20	236 ページがいたします。
0:30:31	こちらは開削調査箇所を北側の北が壁面で追加はぎとり権者資料を作成した掲載しております。
0:30:41	宴会ヒアリングを踏まえまして、
0:30:44	こちらの発見、こちらのはぎとり権者主要におけるM1 ユニットEF2 ユニットの境界の設定根拠を明確に今後反映させていただきます。
0:30:58	また、宴会ヒアリングを踏まえまして、F2 ユニット基底面に沿う縁構造に関する拡大写真の掲載、それからその解釈につきまして、今後、反映させていただきます。
0:31:12	また、スケールバーにつきましては、拡大写真ある 102 に示します通り反映いたしております。
0:31:21	以降同様に拡大写真のほう、スケールバーを掲載し、お示しております。
0:31:27	148 ページ、お願いいたします。
0:31:33	はい。

0:31:39	248 ページ開削調査箇所、北側の南側壁面へ参考として掲載してる絵はぎとり園舎資料の悪成長示してる露頭状況た写真です。
0:31:54	前回ヒアリングを踏まえまして、壁面の西側に小断層の解釈線、こちらを追加して示しております。
0:32:03	150 ページをお願いいたします。
0:32:12	こちらは先ほどの 1 例作成しましたはぎとり権者資料をお示しております。
0:32:19	宴会ヒアリングを踏まえまして、M1 とEF2 ユニットのニッタ協会
0:32:26	平衡よりも認められない箇所、こちらでもNECに区分しておりますが、この理由、これらにつきまして、今後、反映させていただきます。
0:32:36	また、前回ヒアリングを踏まえまして、括弧Cへ変位量の計測箇所。
0:32:43	わかるように拡大写真②、こちらを変更してお示しております。
0:32:51	276 ページをお願いいたします。
0:33:03	276 ページは 3 の 2 章において今後反映する内容について記載しております。
0:33:12	南側壁面におけるF1 断層に関連する小断層長端部とPS3 ユニットとの関係を明確にするため、波が壁面の背後法面と連続するMHIIにっくとEs範囲について、
0:33:28	以下に示す既往の観察結果を用いて奥行き方向に連続的に槽層境界を示す予定でございます。
0:33:38	既往の観察結果の一つ目としまして、ブロック試料を用いた研磨へん観察結果及びエックス線CT画像観察結果となりまして、左下の写真に示すようなものを持ち予定です。
0:33:53	二つ目といたしまして、ブロック試料採取前の壁面において作成したはぎとり権者資料を用いた地質構造観察の結果、右下の写真にお示しますようなものを用いて今後へ反映させていただきます。
0:34:10	177 ページ。
0:34:13	あら 4 章になります。
0:34:17	4 章につきましては、変更したものはございません。
0:34:21	291 ページをお願いいたします。
0:34:27	はい。
0:34:35	291 ページは、
0:34:37	交渉周氷河対応の影響に関する検討です。
0:34:42	こちらの資料につきましては、今後、
0:34:46	注氷河作用の影響に関する検討後開削調査箇所北側に認められるBF2EF2 ユニット全体のそうそう擾乱の影響の有無に関する検討。

0:34:59	あと、開削北に認められるBF2 ユニットと開削南に認められるES安易にやっぱ過去の表記で周氷河作用の影響を受けていないとすることに関する説明性の向上、こちらにつきまして、今後、反映させていただきます。
0:35:18	来まして 309 ページをお願いいたします。
0:35:29	309 ページからは、6 章f4 断層及びF11 断層に関する検討です。
0:35:36	311 ページをお願いいたします。
0:35:42	6 章は、指摘No.12 と 13 に該当する小でございます。
0:35:49	きる箱の一番下のあれですが、
0:35:53	この章の構成は、
0:35:55	4 月 16 審査会合資料の話を発症に基づき補正しておりまして、指摘事項につきましては、地層区分に関するものであることから、対等内容については、6 ー ー章f4 断層及びF11 断層開削調査箇所に分布する堆積物の地層区分に記載しております。
0:36:17	IOにつきましては、前回会合で御説明済みの内容、これに指摘対応を組み込んでお示しております。
0:36:26	6 ー 2 章、
0:36:28	上載地層によるf4 断層及びF11 断層の活動性評価ですが、こちらは前回ヒアリングを踏まえまして活動性評価も実施してございます。
0:36:38	356 ページをお願いいたします。
0:36:57	6 の 2 相増上載地層によるf4 断層及びF11 断層の活動性評価、こちらのまとめを 356 ページにお示しております。
0:37:09	6 ー ー章地層区分の検討結果よりf4 断層及びF11 断層開削調査箇所において基盤がんの上位にベントする改正堆積物はHm2 段丘堆積物に区分されます。
0:37:24	Hm2 段丘堆積物の堆積年代はS1Sにおいて見つけてさんにおいて 2011 でございます。
0:37:34	F4 及びF11 断層の活動性評価結果です。
0:37:39	Hm2 段丘堆積物に変位変形が認められないことから、来更新世以降の活動は認められません。
0:37:49	青やっているの知多です。
0:37:51	F4 断層及びF11 断層は後期更新世以降の活動は認められないことから、将来活動する可能性のある断層等ではないと評価されます。
0:38:04	358 から 359 ページにF4。
0:38:08	360 から 364 ページにF11 の活動性評価についてエビデンスのほう掲載してございます。

0:38:16	以上で、6章の説明です。
0:38:20	話を参考資料につきましては、修正ございません。
0:38:24	恒につきましては以上でございます。
0:38:28	。
0:38:29	はい。
0:38:30	それとタニでございます。説明等ございますですか。
0:38:38	説明ありがとうございました。
0:38:40	質疑Bのほうを始めさせていただきます。
0:38:45	ちょっと私のほうからですね、
0:38:48	226 ページだとかに今後反映する内容。
0:38:54	あと、
0:38:55	276 ページもそうなんですけどこれは次回の会合までに資料を追加するという ことでよろしいですか。
0:39:11	北海道電力の渡辺です。もう1回の会合まで前のヒアリングまでに
0:39:18	資料を追加しようというふうに考えております。
0:39:21	はい、確認できました。だから今後っていうのは今回の今回会合するにあつ て、
0:39:27	追加するということですね、それでタニ 126 ページ、これちょっと内容教えて欲 しいんですけど。
0:39:35	一つ目の丸っていうのは、南側壁面の背後法面天端付近スケッチっていうの は、今
0:39:45	資料の中にある全部のスケッチってことなんですか。
0:39:50	北海道電力の渡辺です。はい。前回ヒアリング資料でもお示ししております。 詳細スケッチページでいきますと、
0:40:00	100 ページから詳細スケッチが始まっていくかと思えます。
0:40:06	この中で、
0:40:09	例えば 105 ページを見ていただければと思うんですけども。
0:40:18	空港ページの右下に凡例がありまして、1000mの分布と書かれてる限りでく っているものがありますこれが宴会ヒアリング資料のままの状態に今なってお ります。こちらに関して、前回のヒアリングを踏まえまして、すごく強い括りの明 示明確化を図るといったことをしようと思っております。
0:40:39	入ったりです。それがあったから、各ページで今入ってる繊維部の分布範囲つ ていうのがもう少し明示されたようなのか、全部のスケッチで行われるって いうことで理解しましたけど、
0:40:49	いいですか。

0:40:50	はい。
0:40:52	はい、わかりました。お願いします。普通それで 226 ページの二つ目の丸っていうのは、
0:40:59	具体的にはどういうことを
0:41:03	されてるんですか。
0:41:06	はい。今回の検討におきまして、背後法面のほうにPSユニット及びそれに含まれる成分というものが連続的に分布していることということを示してございますが、こちらが最終的には現地調査でも見ていただいた。
0:41:22	南側壁面の小断層が認められる範囲にどのように続いてくるかというところが重要になってくるかと思っております。その背後法面から南側へ記名の連続する状況セーブもTs本体も含まれますけども、
0:41:38	これらの連続状況を、露頭観察結果を踏まえ、写真、露頭写真を掲載することによって証明説明していきたいなというふうに考えております。
0:41:49	配管ですとほぼ変わりました。
0:41:52	思いについては、やられる予定のことが一応理解できました。
0:41:58	それで、私のほうは内容についてちょっと確認したいんですけど。
0:42:06	結局ですね、このTs3 っていうのは、御社はPSにとか他も斜面堆積物とですね。
0:42:15	特徴の整理をなんかしてるんですけど、これは特徴は、
0:42:19	同じっていうふうにしてるんですかなんかを同じとしておきながら、実は違うところもあるとか、その辺の説明が
0:42:28	中にはあったんですけど特徴、同じなんですか。違うんですか。
0:42:33	北海道電力の渡辺です。特徴としましては同じと考えてございます。そして資料上、今特徴の同じ違うをまとめているページが、
0:42:44	一方、
0:42:50	45 ページとかですか。
0:42:52	例えば、41 ページ、すいません、見ていただいて、あくまで三、四十、
0:42:58	45 ページ見ていただければと思っております。
0:43:02	45 ページの各種観察分析測定結果からいくと、PSワンツートと悪い項目が多い特徴が類似すると思ってるんですけども現状として少し異なると思っている部分につきましては 41 ページのほうお願いしてよろしいでしょうか。
0:43:25	41 ページに放送確認の結果としてのまとめが書かれています。
0:43:30	その中で、二つ目の丸について繊維部に関して若干相違があるというような記載をしております。こちらに関しましては、PS3 ユニットの観察をしていきますと繊維部の特徴として、本体ができまじりシルトまじり砂であることに対して、

0:43:49	繊維物というものは歴のないシルトまじり砂の想定してございます。さらにその中を見ていきますと、特徴として、シルトの履歴が認められるもしくは細粒化中流佐賀パッチ状に分布するという特徴が家さんの整備には認められると考えてございます。
0:44:06	同じ目でDS2 ユニットを例えば見たときに、
0:44:10	の付近には同じように歴のないシルトまじりの砂というものが存在してるんですけども、放圧が薄いからという状況もあるかもしれないんですけども、PSさんと同じような細粒化中流さあのパッチ状、もしくはシルトの履歴と、
0:44:26	いうものが認められておりませんので、同様なセーブというくりでいくと若干異なるだろうというところで、そこに差異があるんじゃないかと思っております。
0:44:38	はい規制庁谷です。その辺のことを資料に書かれてるのは知ってるんですけど、こういった違いがあるんだけれども、だけどおんなじなんだっていうのは、その辺はどう、どこを見れば、
0:44:53	つこう違いはあるんですよって書いときながらだけども、
0:44:58	同じ斜面堆積物なんですっていうその辺の考えをちょっと教えてもらっていいですか。
0:45:05	北海道電力の渡辺です。確かに今技術ベースでここが同じここが違うというところで、結局ものとして将来のかどうかっていう結論が抜けてるような状態になってますので、その辺り加筆をさせていただければと考えてございます。
0:45:24	規制庁とISまあまあ過失をしていただく分にはいいんですけど、今どういうふう考えてるかちょっと教えてもらっていいですか。
0:45:31	はい。現状としましてはPS、例えば2 ユニットの基底付近には駅の前シルトまじり砂の層等がございますので、おそらくこれはPSIユニットで見ている繊維部と同様なものを見ているんだろうと考えております。
0:45:47	ただし、準厳密に、
0:45:50	全く同じ特徴が見えているかという、総厚が薄いことが関係してるのかもしれないんですけども、シルト向き歴もしくはパッチ状の砂というところがないよと、その辺りについては、解釈を入れるなり追記するなりというところが必要かと思っております。
0:46:08	はい。まず今回確認しました。
0:46:12	その辺のお考えちゃうとしてもらえたらと思います。
0:46:17	あとですねちょっと話変わるんですけど、43 ページ
0:46:23	これ今回髓核即とかしたのが全部入っているということでもいいですか。
0:46:31	はい、今回の横断掘削箇所とフリーフレームを外した海側利益面含めて一式入っております。

0:46:39	規制庁投入するありがとうございます。それで、これを見ていくと、何かちょこちょここの小断層っていうのが、
0:46:48	書かれていますよね。これって、それぞれの関係っていうのがちょっとこの絵を見るだけでわからないんですけども、
0:46:57	1回この小断層というのはここで何本あるんですけど、これとこれとか繋がるんですとかそういった情報は、
0:47:05	整理されてますか。
0:47:15	北海道電力の渡辺です。
0:47:18	すみません展開で少しその辺の関連性が見えづらくなっているんですけども今見えてるのは産状を考えております。
0:47:25	1条が43ページの展開図でいくと、一番下の海側壁面というものに書かれている距離呈1mのところにある小断層、これが南側壁面と走向方向で連続する小断層になっております。
0:47:42	こちら側の3-2章のほうでもPSIで止まってますよというふうに説明している。
0:47:48	南側壁面と連続する小断層なっております。
0:47:51	そのほか、同じ海側壁面でいくと、距離呈6.5メートル付近にもう1条見えてございます。
0:47:59	こちらというのか、広角な逆断層清掃し示す小断層ですよ途中ぐらい説明させていただいているものとなっております。
0:48:08	そしてもう一つが、その右側距離呈8メートルぐらいに位置している小断層と合っております、これが、
0:48:17	どうぞ。
0:48:18	正断層センスを示す小断層となっております。
0:48:30	戦争たんです。それで横断箇所①にもあるのがこれが二つ目に言った高角逆とおんなじってということなんですか。
0:48:43	はい、そうなります。
0:48:46	そしてその上の側溝側溝設置後っていうのも、これは、
0:48:53	一番右の正断層って言ってる断層ですか、何か。
0:48:59	うん。
0:49:01	その辺の関係ちょっと見えるように、
0:49:05	していただけたらと思います。とにかくさっき説明していただいたこの3本の断層が
0:49:13	連続して分布して、その上の後段部だとか側溝設置後だとかに出ているのは全部これが連続しているようなものなんだという説明で理解していいですか。

0:49:24	はい、そうです。
0:49:28	この辺りをわかるように、少し補足の線を入れたりして、連続性が視認できるように、こちらは工夫させていただきます。
0:49:38	はい、タニです思うついでに言うと、それぞれが活動性評価の観点から言うとどういうふうに今考えてるのか、
0:49:51	何ていうんですかね、上としっかりと上載地層との関係を確認しているのかどうなのかとか、
0:49:58	その辺もですね、説明していただけたらと思いますけど、それは、
0:50:04	今後議論していくことになるかもしれません。
0:50:09	はい、承知いたしましたそのあたり、
0:50:12	排気塔させていただきます。
0:50:19	評価に関する
0:50:23	はい。
0:50:28	タニです。あとちょっと早々確認で、
0:50:34	今週ページところで公表としたら、
0:50:39	毎月のかもしれないですけど
0:50:42	斜面堆積物DS2 ユニットの中に、
0:50:46	会場の黒色のブロックっていうのを書いてるんですけど、これってどんなものなんだと考えておるんですか、それともわからない。
0:50:57	はい、渡辺です。前回のヒアリングでも少し同様な質問をいただいて回答してる中身といたしましては、現場のこちら見る当時性を有しているということがわかってございます。それと色調等からおそらく酸化鉄とか参加マンガン
0:51:15	こういうものが多く集まってるブロックのようなものなんじゃないかと現況アクセル状況としてはそんなところになります。
0:51:24	はい、谷です。それがこのTs-3にも見られて、ほかの斜面堆積物では見れているんですか。
0:51:47	北海道電力の渡辺です。今のところ、例えばPS2 ユニットイエス1 ユニットの観察をする限りにおいては目立って見えてるものではありません。
0:51:58	。
0:52:00	確認できました。斜面堆積物の中では今のところじゃTs産業にとってだけに見えてそうだという話と、
0:52:11	しかも、もっととか改正堆積物にもないってことなんですか。
0:52:42	北海道電力の渡辺です。まず森の中にはないです。当不備M1 ユニット中については、

0:52:51	4月16日の審査会合でも多少お示しているかと思うんですけども、小さい黒色の粒のようなものがあってEPMAをするという目ナイトウじゃないかというような評価遅らせて資料化してます。ただ、このブロックと比べると、大きさとしてはかなり小さいM1の中にあるものは小さく、
0:53:09	またこのTs範囲と中に入っているように若干こう変形を伴っているような形状のものというものは見てとれないというのが現状です。
0:53:24	はい、確認できましたと。
0:54:18	最初のタニです。
0:54:20	ちょっと資料からあまり痕跡知れないですけど。
0:54:24	今回斜面堆積物っていうのが杜等々も理論上にあるものだとか、改正堆積物といろいろ
0:54:36	データを集めて、それとは違うんだというようなことをですね、示されてると思うんですけども、
0:54:43	そもそもうーんと。
0:54:49	敷地の中にある森度っていうのは、
0:54:53	どれもこういう
0:54:57	森野なんですか。盛り度でも何か種類があったりとかですね、場所によって違うようなもの。
0:55:05	森もあるのかとか、そういった
0:55:10	森度っていうのはどういうものなのかみたいな整備とかっていうそういう観点では、今までは資料を見てないんですけど、何かされたりはしてますか。
0:55:34	はい。
0:55:48	北海道電力の渡辺です。少し一般的な土木工事の話になってしまうんですけども。
0:55:54	まずさ細表層に入れる盛り度としては大体切り取りする前の現況の植生が生えてる再表層の客土というのを一度配慮きしておいて、最後にそれを張るっていう作業します。それ以外の部分についての森度というものは、
0:56:12	概ね現地掘削度現地発生度を再利用して、その上に最終的にKROTOSうち有機質な躍動盛り立てるというような作業になろうかと思っております。
0:56:31	はい、お考えは確認しました。はい。
0:56:44	原子力規制庁のカイダと申します。
0:56:48	今日、今回の資料をちょっと社写真等への対応のちょっと単純なところ今一度ちょっと確認したいので教えていただきたいんですが、
0:57:01	ちょっと南側の
0:57:14	例えば、

0:57:16	13 ページとか、
0:57:20	南側の掘削面があるかなと思うんですが、
0:57:27	これちょっと今日の資料で、
0:57:31	どこがいいかと思うんですけど、ここの壁面の写真っていうのが、
0:57:36	等の資料に入ってるんでしょうか。ちょっとその写真とこの。
0:57:40	バスケットの対応を確認したいなと思ったんですけど、写真っていうのがちょっと見当たらなくてもしあれば教えていただきたいんですけど。
0:58:14	北海道電力の渡辺です。
0:58:16	そういう現況の資料で、南側壁面に相対して取ってる写真というのが載せてはいないんですけども、そんなものでいけば 11 ページに載っています。
0:58:27	全体を俯瞰した写真、
0:58:30	こちらの南側壁面と示してる部分が先ほどの 13 ページのスケッチと対応する壁面の写真となっております。
0:58:40	ありがとうございます。
0:59:02	過去のした資料で文字と思うんですけども、
0:59:10	はい、すいません過去の審査資料でいきますと、
0:59:15	4 月 16 日の審査会合資料の 142 ページ 1143 ページに壁面の写真がございます。
0:59:34	ありがとうございます。
0:59:37	142 ページ比較という 43 ページ。
0:59:44	拡大が 144
0:59:48	その資料でいくと例えば 400、
0:59:53	ページ以降に 410 ページとか、412 ページとかにもあるんですけど、これも同じと思ってよろしいですか。
1:00:05	はい、同様になります。
1:00:08	そうしたらその写真と先ほどのスケッチをちょっと見比べて、
1:00:14	いただきたいんですが、1 番地表にある。
1:00:18	この白い色が塗ってない白いこうなんですか。
1:00:23	森移動になります森野ですかね、これは、
1:00:27	例えば 400 審査会合資料の 420 ページ。
1:00:31	いう写真の
1:00:37	どこに当たると思ったら、
1:00:40	この
1:00:41	草が生えてその下にちょっと黒っぽいええとまあ、いかにもちよつとこう、
1:00:47	かぶってる土みたいなのがあって、ある程度、

1:00:50	その緑色の枠がしてあるところの中を工数ととって7名とっていくその境界がある。それより上だというふうに思って。
1:01:00	いうふうに認識してよろしいですか。
1:01:26	このこげ茶っぽいところより上というふうに思ってよろしいよろしいですか、すみません、少々お時間いただいてよろしいですか。
1:02:16	北海道電力の渡辺です。すいません。森どの規定の部分なんですけど、411ページの右側の写真でいきますと、縦横にちょっとスケール入ってるかと思うんですけども、もう井戸の規定というのがこのスケールでいくと。
1:02:32	13cmぐらいのところのたりにも井戸の規定が入るような状況になります。
1:02:40	421ページの第13cmぐらいより上が森の森どうなります。
1:02:49	わかりました。
1:02:52	トーク
1:02:54	斜面側のほうについては、今の店右側になるんですけどこれは労働森同等P S3の間に吹き付けコンクリートが挟まってきているかと思うんですけども、これを境に右側が森等とありますか。わかりました。ありがとうございます。
1:03:17	規制庁タニです。
1:03:21	これちょっと前回もひよっとしたら聞いてるんじゃないかと思うんですけど、やっぱり知見を見てよくわからなくと考えを確認したいんですけど、230
1:03:34	6ページ7ページ。
1:03:37	この
1:03:40	はぎとり点者で、小断層トレースしているんですけども、
1:03:47	下側の小断層について何かラミナがあって、
1:03:53	ラミナを基準に
1:03:56	引いてるんだらうなっていうのはわかるんですけど、この上から小断層は、これは何を
1:04:03	マークして、ここに引いている。
1:04:06	です。
1:04:08	はい、渡辺です。こちらはせん断面を追っかけてトレースしております。
1:04:14	今の資料で、その先端面っていうのがわかるような写真というのはあります。
1:04:29	ワタナベです。すいません今の写真だと確かにわかりづらいので、過去にもやった手法なんですけども、若干こう斜めから掘ることによって目立たせることができるので、その辺りがわかるような写真を追加させていただきます。
1:04:46	はい。所とそれでわかるんだとこの写真では正面から見るとわかりにくいんですけども、実際のはぎとり電車だったら、かなりはっきりわかるような面があるっていうことですか。はい。はっきり終わります。

1:05:01	はい。ぜひその辺ちょっと示していただけたらと思います。それは1本、
1:05:08	綺麗な面がある。
1:05:10	はい、以上になっております。
1:05:14	はい。資料見させていただきます。
1:06:37	規制庁の谷です。
1:06:40	えっとですね、先ほど確認した今後反映する内容だとか、今後も資料をちょっと追加しますよっていう話と今やりとりの中で、ちょっと資料、わかるような資料出しますとかいう話があったと思うんですけど。
1:06:57	これ遠いいつぐらいに準備
1:07:02	できるんでしょうか。
1:07:14	北海道電力の渡辺です。今後反映する内容等、本日のヒアリングを踏まえて対応するであろう修正につきましては、今回の会合までに意識間に合わせたいと考えております。
1:07:28	。
1:07:29	ちょっとですねか会合もまああロジック的な話なんですけど。
1:07:33	だから、来週は出せそうですか。
1:07:39	はい、来週に出せるように努めたいと思います。
1:08:07	規制庁タニです。例えば来週ですねヒアリングをすることとして、
1:08:14	今のお答えで来週
1:08:17	ということがもう来週の前半の資料、
1:08:38	来週ヒアリングに
1:08:41	やるとして、資料間に合いますかっていうところなんですけど、ヨウ素前半り資料出せるかっていうところを確認したいんですけど。
1:08:55	北海道電力の泉です。
1:09:03	そういう前提でありますけれども、資料は間に合わせたいというふうに考えております。
1:09:29	はい。いずれにしたものでは来週資料いただいてヒアリングの利点は後程ですね、あとで調整したいと思いますんですけど。
1:09:38	来週ヒアリングできるような形で資料整理できるということで理解しました。
1:10:36	ここが規制庁ナイトウですけども、ここは事象来週話拡充した資料、時ヒアリングこうやれたスタートと思いますって例えば午後、
1:10:49	会合でも言ってですね、前回ヒアリングと思います。これほとんどだと思うけれども、小断層とF案断層からも見てUFワースト関連するものとしての小断層といわゆるどっかの面低層境界適地等

1:11:08	切られているということを明確にデータを持って示していただくということで切っている規程名を所断層か切られているふう層が十二、三万年よりも古い時代感を持った堆積層であるっていうことを
1:11:26	どういう形で所をもって説明するのかっていうのが大きな二つの論点なのでそこはわかるような形で、次の資料を構成していただければと思いますので、お願いします。
1:11:37	。
1:11:40	北海道電カイズミでございます。今の趣旨承知いたしました。
1:11:47	。
1:11:49	水素単位です。それでは確認事項はここまでにして
1:11:56	事業者さんから北電さんから何か。
1:12:00	ありましたら、
1:12:02	お願いします。
1:12:14	北海道電カイズミでございます。今回説明した試料に関する内容としては当初から追加で確認する事項はございません。
1:12:26	規制庁たるそれでは今日のヒアリングはここまでにしたいと思います。ありがとうございました。お疲れ様でした。
1:12:36	ありがとうございました。